

【話題提供メモ】 沖縄の地域ポテンシャル:「ちがい」と「フュージョン」が求める交通機能

2012年11月16日

東京大学教授(社会基盤学) 家田 仁

1. 沖縄の交通とインフラ、アジア的視点から

- ・宿道: 権力支配とインフラ、秦の馳道、ローマの道
- ・沖縄自動車道の使われ方
- ・アジア的視点に立った、那覇空港の位置づけ、航空貨物拠点化

2. 規模と位置のネットワーク経済

- ・規模の経済、強い者がより強くなる、どこからスタートするかへの依存性
- ・ネットワーク経済の強さと脆さ
- ・集中度、人口分布、地理的位置、GECIで評価する集中度の国際比較

3. 「ちがい」のもつポテンシャル

- ・「ちがい」を生み出す源泉、人工(文化)と自然、沖縄と北海道
- ・「ちがい」が生み出す原動力とエネルギー、なぜ旅をするのか?
- ・同質化のリスクと交通の高度化

4. ブリッジタイプの地域づくり ~ 混合とフュージョンのもつ魅力 ~

- ・「万国津梁」のもつ意味
- ・混合の魅力、共存のモザイク
- ・フュージョンが生み出す魅力と創造

【いくつかの海外事例を眺める ~ 辺境性・遠隔性・境界性・孤立性のもつポテンシャル】

濟州島、シシリー島とマルタ島、シルクロード、シンガポール、英国と日本

5. 空間的な遠隔性と機能的近接性

- ・両者は両立するか?
- ・交通機能がもたらすチャンスとリスク
- ・高速交通のもつ意味

6. ミニマム・マスをどう確保するか

- ・ローカルな個性とコヒーレンス
- ・「さやえんどうまめ」コンセプト
- ・沖縄エリアの個性の打ち出し方 ~ 重要な入れ子構造 ~

7. 3つの交通機能と意義

- ・規模と位置のネットワーク経済 ハブ機能
- ・ちがいとフュージョン その集積点に集客交通
- ・ミニマムマス ローカルネットワークの重要性